

まなびの広場
稲進会
教室通信

彩色いろいろ

『無限の可能性』

「オギャー」と元気に生まれたばかりの赤ちゃんを見て、ほとんどの人は、この子はどんな大人になっていくのだろうとたくさんの可能性を想像することができます。私は、教室に来てくれている生徒たちを見ていて、この子たちは将来どんな大人になるのだろう……、スーツをピシッと決めてバリバリ働いている姿、結婚して子どもを連れて歩いている姿、もしかしたらヒゲなんか生やしていたりしてなんてことを勝手に頭に浮かべていると、かなり楽しい気分になれます。

この時、「～は無理」と考えるよりも、想像の世界は、無限に広がっていきます。

このことって普通のこと？ 当たり前のこと？

日本の歴史という観点から考えてみても、このように考えられるようになったのは、本当につい最近のことと言えます。



戦争が起きている（起きる可能性が高いと考えられる）時代であれば、いつ戦地に連れて行かれてしまうのか、徴兵されることのないまま生涯を終えてくれさえすればと思ったかもしれません。日露戦争中（最近、この時代を研究テーマにしているんです）次男、三男は、養子に出ることを希望する人が多かったそうです。養子に出て一家の長男になれば徴兵の可能性が低くなるためです。この子たちは徴兵から逃れるために、自分の姓を捨てました。『203高地の戦い』で有名な旅順の陸戦では、人の命は虫けら同然、あってないかの如くに扱われました。

近代以前であれば、士農工商を始めとした明確な身分制度がありました。生まれた瞬間に武士なら武士として、農民なら農民としてどのような生涯を歩み、終えていくのかある程度決められていたのです。

教育を受けられることも、選挙権も、長い期間限られた人物のみが享受できることでした。

今、当たり前に見えることも、ちょっと時代が変われば、めっちゃくちゃ貴重なことってたくさんあるのだと思います。

何でもなっている（なれる）という自由を手に入れている現在、どのように生きて行けばいいのか、自由だからこそ子どもたちの多くが悩んでいると言えるのかもしれません。大人がルールを敷いてあげ、その通りに生きて行けばいいと言ってくれた方が助かるという子どももいます。

「何にでもなれるよ」の前には、「才能次第で」、「運次第で」、「努力次第で」などの修飾語がつかなければならないのが現実かもしれません。ですが、これまでの歴史の中でありえないほど自由に夢や目標や目的を想像でき、それを達成できる可能性の高さを持ち合わせているのが、今この瞬間です。

夢見たって、出来ないかもしれない、達成できないかもしれない、でもせつかく自由に夢を見られる（見ていい）のだから、夢一杯未来を想像して生きていく方が断然いい！ そう思っています。

奥松

教室の風景

嫌いなもの、苦手なものも……

5月。教室にもたくさんの『兜』と『このぼり』が並び、戦国好きの私も心躍ります(笑)。

今年是大河ドラマのおかげで真田幸村がブーム。私もブームに乗って春休みには幸村親子の配流先の九度山、G.Wには真田の郷・上田市を訪れました。

もともと片倉小十郎景綱ファンの私にとって、真田幸村は敵(大坂の陣の頃は息子の重綱に座を譲っていましたが)。表裏比興の父昌幸の血を継いだ息子幸村は、常識にとらわれず奇策を打ち立てる日本一の兵であり、大好きな片倉軍をてこずらせる厄介な武将。つまりこれまでは「面倒な敵」「苦手な武将」でした。ところが真田幸村視点で戦国時代後期を紐解くと、何とも言えず人間らしく魅力的！これまで私にとっては「あざといエピソード」だった史実も、別サイドから見ると愛や知性を感じる「美しいエピソード」に。もちろん、世の人々はそんなことはとっくに知ってるからこそ真田十勇士のような物語が誕生したのでしょうか。

嫌いなものや苦手なものを好きになったり、その魅力に気づくって本当に楽しいですね。ネガティブにとらえていたことがオセロ盤上の石が一気にひっくり返るようにバタバタとポジティブな解釈に変わっていくのは一種の快感でもあります。また好きなものが増えると好奇心のアンテナ数も増え、ますます興味の範囲も広がっていきます。教室に来る生徒たちにも、たくさんのものや人を好きになって自分の世界をどんどん広げていってほしいなと思います。

ところで前述の片倉重綱。大坂の陣で真田幸村と直接対決した後に部下と快勝を労っていたところ、興奮冷めやらぬ陣内にさっきまで干戈を交えていた幸村から丁寧なお手紙付きで実娘が送られてくるというエピソードも。最後まで想定外の幸村！これには重綱もオロオロ。この様子が書かれた文献を読むだけで微笑ましく、笑えます(>▽<)。

インストラクター 赤崎貴子



真田家家紋『六文銭』
※三途の川を渡るのに六文必要だったことに由来します。



5月作品紹介



(左上)「屋上のある駐車場」 (右上)かぶと
(左下)「宝物を入れておく箱」 (右下)お花見セット

